

べんり 便利さ

話してみよう



むじんとう みつ どうぐ も い なに も い
無人島に三つだけ道具を持って行けるなら、何を持って行きますか。



べんり
「便利さ」のショートストーリー

- たの ぶ べん
・楽しい不便さ
- いっしょう てちょう
・一生、手帳
- ・シャドーワーク



「楽しい不便さ」

ものの長さを測るときや、線を書くときに、定規¹⁾を使います。定規は、「ものさし」とも言います。普通のものさしには、たくさんの線と、1、2、3などの数字が書かれています。ところが、京都大学で売っている「素数ものさし」は、ちょっと違います。書かれている数字は、2、3、5、7、11、13、17 だけです。この数字は何でしょう。そして、このものさしは一体、どうやって使うのでしょうか



素数ものさし

(<https://u-coop-shop.net/item-detail/1117649>)

「素数ものさし」に書かれている数字は全て「素数」です。「素数」とは、「1とその数字でしか割りきれない数」のことです。例えば、7という数は、「1と7でしか割りきれない数」です。 $7 \div 1 = 7$ 、 $7 \div 7 = 1$ と割りきれます²⁾が、 $7 \div 3$ や $7 \div 5$ などは、割りきれません。一方、例えば10という数は「1、2、5、10」で割りきれます。 $10 \div 1 = 10$ 、 $10 \div 2 = 5$ 、 $10 \div 5 = 2$ 、 $10 \div 10 = 1$ と、きれいに計算ができます。このように10はいろいろな数で割りきれますから、「素数」ではありません。

さて、この「素数ものさし」を使って、4cmの線を書くにはどうしたらいいのでしょうか。「2cmの線を2回書く($2 \times 2 = 4$ 、 $2 + 2 = 4$)」、いいですね。「7cmの線を書いてから、3cmぶん短くする($7 - 3 = 4$)」、これもいい方法ですね。では、6cmの線を書くには？15cmの線を書くには？ちょっと考えてみてください。実は、この「素数ものさし」を使えばどんな長さの線も書けるのです。普通のものさしを使う方が楽かもしれません。でも「素数ものさし」を使う方がちょっと楽しい気持ちになりませんか？

1) 定規：ものの長さを測る道具

2) 割りきる：ある数字をいくつかに分けたときに、ぴったり分けること。たとえば、6は2で割りきることができる(6を2つに分けると、3と3になる)。5は2で割りきることができない。

このものさしは、「不便^{ふべん}だけど楽^{たの}しい」「不便^{ふべん}だけど役^{やく}立つ」ことについて研究^{けんきゅう}している「不便^{ふべん}益^{えき}システム研究^{けんきゅう}所^{じょ}」が作った^{つく}ものです。「不便^{ふべん}益^{えき}」とは、「不便^{ふべん}」と「利益^{りえき}」を合^あわせて作^{つく}られた言葉^{ことば}です。

この研究^{けんきゅう}所^{じょ}は、「素^そ数^{すう}ものさし」の他^{ほか}にも、面白^{おもしろ}いアイデアをたくさん生^うみ出^だしています。「かすれる³⁾ナビ⁴⁾」も、その一^{ひと}つです。「かすれるナビ」は、一^{いっ}見^{けん}、普通^{ふつう}の地図^{ちず}アプリのよう^{よう}に見^みえますが、同^{おな}じ道^{みち}を通^{とお}るた^たびに、その道^{みち}の部^ぶ分^{ぶん}がど^どん^どん薄^{うす}くな^なって(かすれて)、見^みえにく^くな^なります。地^ち図^ずアプリな^なのに、道^{みち}が見^みえにく^くいな^なんて、ち^ちょ^ょっ^つと不^ふ便^{べん}です。でも、ア^あプ^ぷリに頼^{たよ}らずに、自^じ分^{ぶん}の頭^{あたま}で道^{みち}を覚^{おぼ}えるよう^{よう}にな^なります。

便^{べん}利^りかどうかだ^だけで^では^はな^なく、不^ふ便^{べん}でも楽^{たの}しいかどう^{どう}か。不^ふ便^{べん}でも役^{やく}に立^たつかどう^{どう}か。ど^どん^どん便^{べん}利^りにな^なる世^よの中^{なか}では、これ^{これ}も大^{たい}切^{せつ}な視^し点^{てん}かもし^しれ^れま^ませ^せん。

3) かすれる：文字や絵が部分的に消えたり、はっきり見えない状態になる

4) ナビ：ナビゲーション・システム (navigation system) を短くした表現



「一生、手帳」

今日は、一番嫌いな月曜日。週の始めは、いつも気分が上がらない。でも、そんなことは言われてられない。今日のスケジュールと今週のスケジュールも確認しておこう。

手帳を見ると今日は午後2時から会議で、明後日は出張。木曜までに資料を作っておかなきゃいけないから、出張前の今日、明日に完成させなきゃ…。そういえば、先週土曜に行ったレストランはおいしかったな。ここはあたり！ また行きたいから◎ 太らないように、日曜はジムでしっかり運動！ 一週間に2回は行かなきゃお金がもったいないから今週は火曜と土曜に行こう。あっ！ 仕事の帰りにパンとコーヒーを買わなきゃ。

同僚：おはよう。

私：おはよう。

同僚：えっ！ まだ手帳使ってるの？ 私はもう何年も前からスマホでスケジュール管理してるよ。

私：手帳の方が便利なんだもん。

同僚：便利って、何が便利なの？ いつも持ち歩くの重いし、書くの面倒くさいじゃん。スマホなら、リマインダー¹⁾くるから忘れないし、スマホ一つ持っていればいいんだよ。

私：わかってるよ、そんなこと。でも、私にとっては、手帳の方が便利なの！ 私も何回かスマホでスケジュール管理しようと思ったけど、習慣化できなかったの。いちいちスマホを手にとってアプリを開くことの方が私には面倒なんだ。アプリもいろいろ増えていくし、スケジュールを入れるためにスマホを開いたのにネット始めちゃうのも嫌だし。それに、手帳が重いて言っても300グラムぐらいでしょ？ これが重いて、どれだけ体弱い？ 手帳だと、予定だけじゃなくて、毎日のしたこと、記録とか、やらなきゃいけないこと、思いついたこと、その時の気持ち、なんでも自由に書けるんだよね。それに、書いた方が忘れにくいように感じる。

1) リマインダー：予定を忘れないように、その予定の直前に連絡が来ること

どうりょう
同僚：そんなのスマホでもできるじゃん！

わたし
私：スマホだと面倒くさいの、私は。新しいことが便利じゃなくて、昔から使い続けたものを使った方がずっと便利なの。

どうりょう
同僚：ただ新しいことを覚えるのが面倒くさいだけでしょ。

わたし
私：別に誰にも迷惑かけてないからいいでしょ！



「シャドーワーク」

インターネットやスマホ、こうした科学技術のおかげで、私たちの生活はとても便利になりました。これらを使わないで生活するなんて、今の皆さんにはきっと想像できないことでしょう。しかし、これらの存在で、反対に不便になったことがあると思います。

先日、近所に新しくできた、とてもおしゃれなカフェに入りました。そこで、コーヒーを飲みながら、好きな本でも読もうと思ったのです。私は窓の近くのテーブルに座りました。テーブルの上にはメニューはなくて、QRコード¹⁾があるだけです。そのQRコードの横には説明が書いてありました。説明によると、お客さんの持っているスマホでQRコードを読み込んで、そこから開くウェブページから注文するというシステム²⁾だそうです。スマホで見るメニューは、写真も文字も小さくて、あまり見やすくなかったですが、何とか注文をしました。しばらくすると、お店の人がコーヒーを持ってきてくれました。そして、「支払いはこのアプリを使ってください」と言いました。ですから、私は自分のスマホにアプリをダウンロードして、そこに自分のクレジットカードの情報を入れてから、やっと支払いをしました。

そのあと、私はスーパーに行きました。買い物客がたくさんいて、レジの前も混んでいました。このスーパーでは、お店の人がいるレジもありますが、会計を自分で行うセルフレジもたくさんあります。ですから、私はセルフレジに行きました。隣にはおじいさんがいて、セルフレジのやり方がわからなくて、お店の人を探していました。でも、なかなかお店の人が見つかりません。数分後、やっとお店の人が来て、おじいさんを手伝いましたが、それでもやり方を覚えるのは大変そうでした。

こんな例はいくつもあります。ホテルを予約するとき、飛行機のチケットを買うとき、タクシーを呼ぶとき、レストランで注文するとき、スポーツジムのメンバーになるとき、私たちは便利なインターネットやスマホを使って、それを行います。うまく行けばとても便利だと感じますが、まずやり方がわからない、たくさんの情報を入れなければならない、あるいは何回も同じ情報を伝えなければいけない、困った時にどこに連絡したらいいかわ

1) QRコード：インターネットのURLの情報が入った右のような図

2) システム：手続きのやり方や方法



からないなど、面倒めんどうなこともたくさんあります。

こうした作業さぎょうは「シャドーワーク（影かげの仕事しごと）」と呼ばれています。もともと、この言葉ことばは主婦しゅふなどが行う家事おこなのように、きちんと評価ひょうかされず、給料きゅうりょうももらえない仕事しごとのことをあらわ表あらわしました。しかし、最近さいきんでは、以前いぜんなら会社かいしゃやお店みせがやっていた作業さぎょうを、客きゃくが自分のスマホやパソコンをつかって行おこなわなければならない状況じょうきょうをあらわ表あらわすのに使つかわれています。

科学技術かがくぎじゆつが私わたしたちの生活せいかつを便利べんりにしてくれたはずなのに、私わたしたちの仕事しごとや作業さぎょうが増えふてしまったのは、何なんだか変へんだなと感かんじます。

タスク① ^{ないよう} ^{かくにん} 内容を確認しよう

ショートストーリーの内容を一人一つずつ短く話してみましょう。

タスク② ^{じぶんがた} 自分語りをしよう

つぎの1)～3)について、まずは自分で考えてみましょう。それから他の人と話し合ってみましょう。

1) ^{なが} ^{あいだ} ^{つか} ^{べんり} 長い間ずっと使っている便利なものがありますか。それは、どんなところが便利ですか。

2) ^{じぶん} ^{べんり} ^{わる} ^{えいきょう} 自分にとって便利だけれど悪い影響があるもの、^{ふべん} ^{りえき} 不便だけれど利益があるものは何ですか。

3) ^{べんり} ^{はんたい} ^{ふべん} ^{かん} ^{けいけん} 便利なはずのものが、反対に不便だと感じた経験はありますか。

タスク③ もっと^{ふか}深く^{はな}話そう

テーマ：世の中の便利^{べんり}なものの中で、これだけ^{なか}はなくな^{なか}ってほしくないもの、こ
れは^{かな}必ず^{ひつよう}必要^{おも}だと思^{おも}うものはありますか。

<自分^{じぶん}の考^{かんが}え>

<他^{ほか}の人^{ひと}の考^{かんが}え>

タスク④ まとめよう

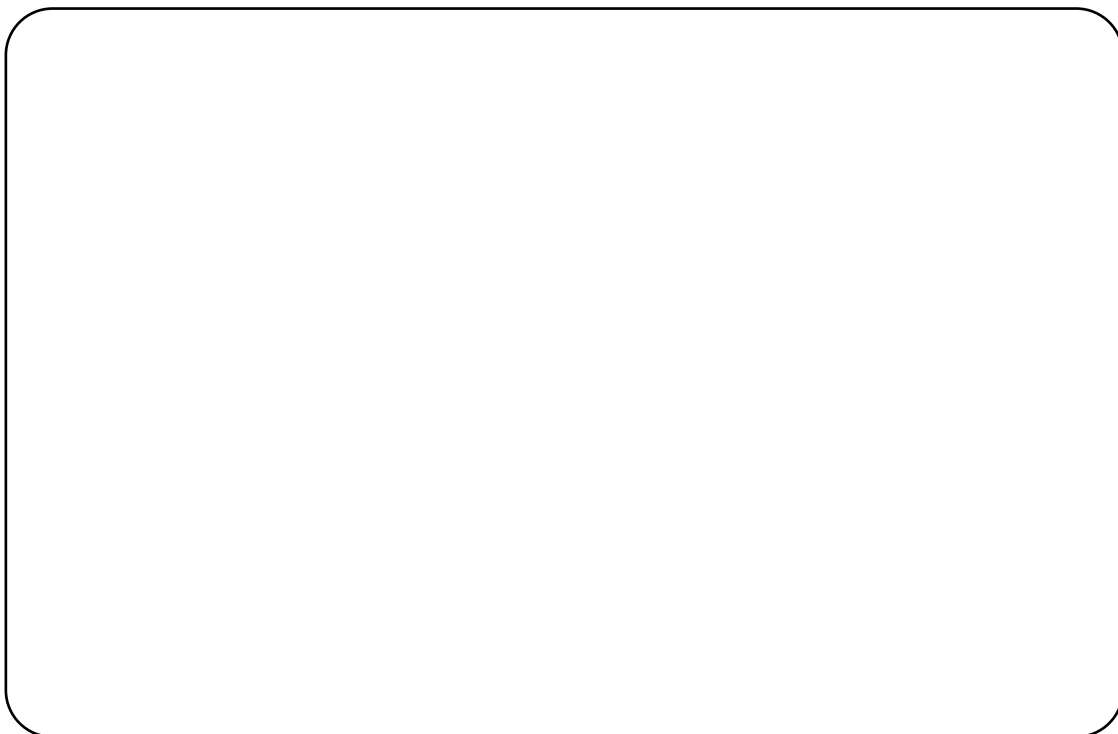
「便利^{べんり}さ」とは何か^{なに}を説明^{せつめい}する名言^{めいげん}（かっこいい文^{ぶん}）を考^{かんが}えてみましょう。

^{べんり}
便利^{べんり}さとは、

★名言^{めいげん}をクラスで紹^{しょうかい}介^{かい}しましょう。なぜそのよ^{めいげん}うな名言^{めいげん}にな^{せつめい}ったのかも説明^{せつめい}しましょう。

+α アイデアを出そう

「不^ふ便^{べん}益^{えき}システム研^{けん}究^{きゅう}所^{じょ}」のウェブサイト (<https://fuben-eki.jp/>) を参^{さん}考^{こう}にして、
「素^そ数^{すう}ものさし」のような不^ふ便^{べん}なことをセールポイントにした商^{しょう}品^{ひん}を考^{かん}え
て、紹^{しょう}介^{かい}してみましょう。



+α あたら^{あたら}しい言^{こと}ば^ばをまとめよう

「便^{べん}利^りさ」で自^じ分^{ぶん}が勉^{べん}強^{きょう}した言^{こと}ば^ばをマッ^まッ^っにしてみましよう。

わたくしの「便^{べん}利^りさ」の語^ご彙^いマッ^まッ^っ

便利さ